



2012年3月期 決算説明会

2012年5月16日

代表取締役会長兼社長
實吉 繁幸

	ページ
2012年3月期決算	…… 3 – 14
当社の経営戦略	…… 16 – 21



2012年3月期決算

● 経営環境(中期的なトレンド)

- 経営の効率化・リスクマネジメント強化、医療のIT化
- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制及び業務効率化への動き拡大 ⇒ 新市場 ⇒ この市場へ積極的に新製品(ROBO・検体検査装置・ヘルスケア)を投入
- ROBOの国内市場開拓率: 大病院 68%、中病院 12%
- 輸出: 新市場の開拓と既存市場の拡充(特に成長期入り市場)

● 前期の経営環境

- ROBOの更新需要捕捉・・・新製品(ROBO-8000RFID)が貢献
- 円高基調の定着・・・・・・・・成長期入り市場で案件大型化志向を継続。一方、円高で受注やや低下

● 主な取組み

➤ ROBO

大病院 ⇒ 更新需要の捕捉
中病院 ⇒ 新規開拓の加速
健診センター ⇒ 販路拡大

⇒ { 粗利率を維持しつつ
新たな市場を開拓

➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、
小病院へも販路拡大

➤ 輸出の拡大

円高の下、ROBO案件の大型化で対応を継続

➤ 新製品

- ・ 検体情報統括管理システムを搭載したROBO-8000RFID
- ・ 静脈可視化装置：ROBOと併売、麻酔科・小児科へ販売
- ・ 酸化ストレスマーカー：小児科、NICU、健診、クリニック、研究室等
- ・ 全自動尿分析・分取装置(UA・ROBO 1000AD)

2012年3月期決算-3

決算サマリー

	2011年3月期		2012年3月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高 (期初見通し)	7,559 (8,225)	100.0 (100.0)	7,980 (8,225)	100.0 (100.0)	+ 5.6 + 8.8
営業利益 (期初見通し)	1,451 (1,644)	19.2 (20.0)	1,828 (1,644)	22.9 (20.0)	+ 26.0 + 13.3
経常利益 (期初見通し)	1,455 (1,647)	19.2 (20.0)	1,831 (1,647)	22.9 (20.0)	+ 25.8 + 13.2
当期純利益 (期初見通し)	933 (978)	12.3 (11.9)	1,074 (978)	13.5 (11.9)	+ 15.1 + 4.8
1株当り純利益(円)	31,970	-----	36,795	-----	+ 15.1
1株当り純資産(円)	281,472	-----	310,667	-----	+ 10.4

※ 期初見通しとの乖離:粗利率増加+82(検体検査装置及び消耗品)、販管費減少△108(ERP導入ずれ等)

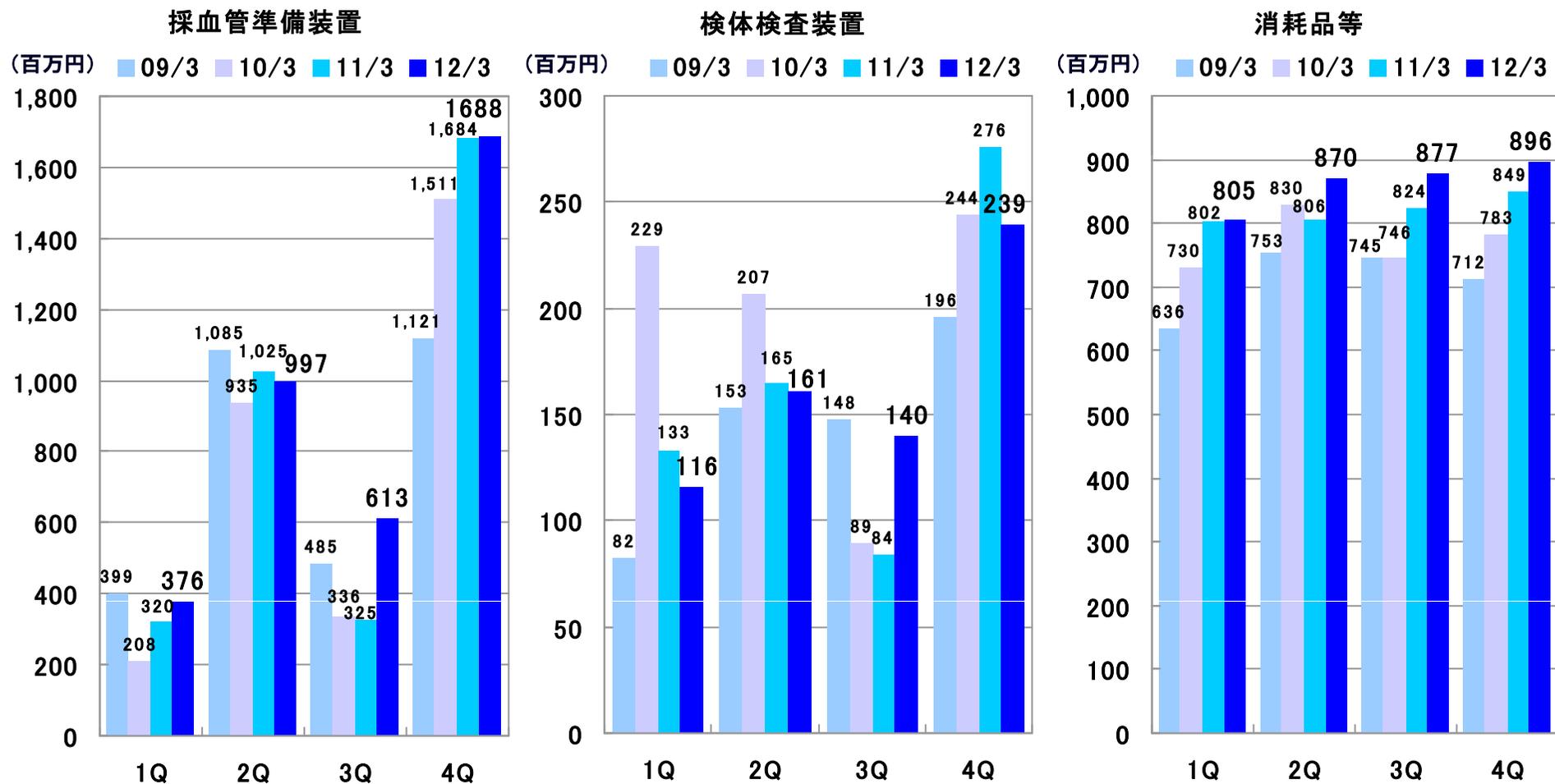
2012年3月期決算-4

品目別売上高

(単位:百万円)

	2009年	2010年	2011年	2012年	
	3月期	3月期	3月期	3月期	前期比 (%)
採血管準備装置	3,091	2,991	3,357	3,675	+ 9.5
構成比 (%)	45.9	42.4	44.4	46.1	+ 1.6pt
検体検査装置	581	770	660	657	△ 0.5
構成比 (%)	8.6	10.9	8.7	8.2	△ 0.5pt
消耗品等	2,847	3,091	3,282	3,450	+ 5.1
構成比 (%)	42.3	43.8	43.4	43.2	△ 0.2pt
その他	209	201	258	197	△ 23.6
構成比 (%)	3.1	2.9	3.4	2.5	△ 0.9pt
合計	6,730	7,055	7,559	7,980	+ 5.6

品目別売上高(四半期別)



採血管準備装置-ROBO納入施設数

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
納入施設数	216	245	272
国内	180	174	204
(中間決算時見通し)			(218)
内、新規	70	66	67
(中間決算時見通し)			(83)
内、更新	110	108	137
(中間決算時見通し)			(135)
輸出	36	71	68

・国内の納入推移(含む更新)

	09/3	10/3	11/3	12/3
大病院	71%	68%	72%	72%
中病院	28%	31%	26%	26%
その他	1%	1%	1%	1%

・平均納入単価(国内+輸出)

’12/3:13.5百万円(前期:13.7)
←ほぼ横ばい

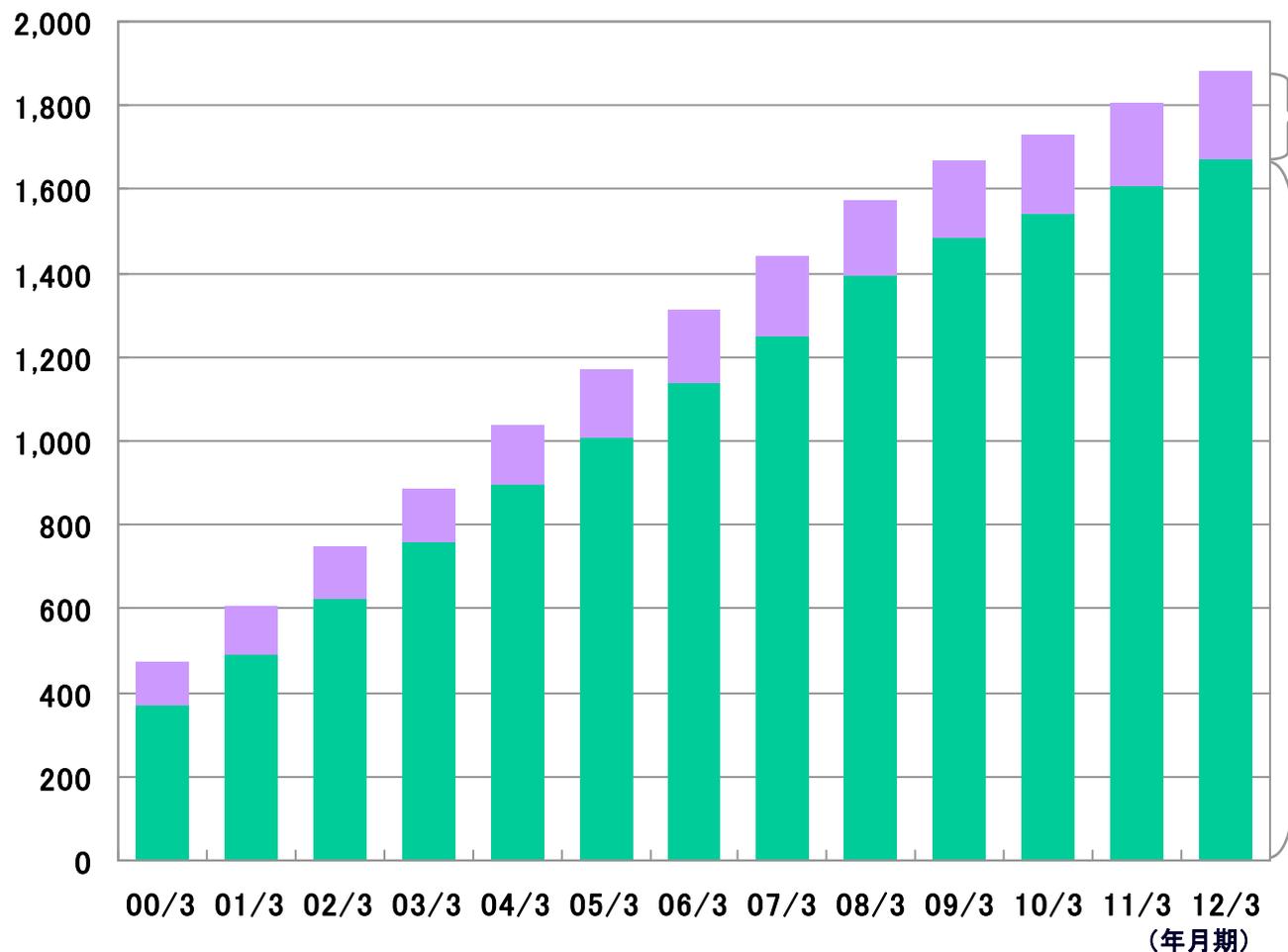
・国内:更新数(大病院)増加、 新規やや低調

輸出:販売数減、単価ほぼ横這い

・売上高粗利率は横ばい

採血管準備装置 - 納入施設の推移

(累計施設数)



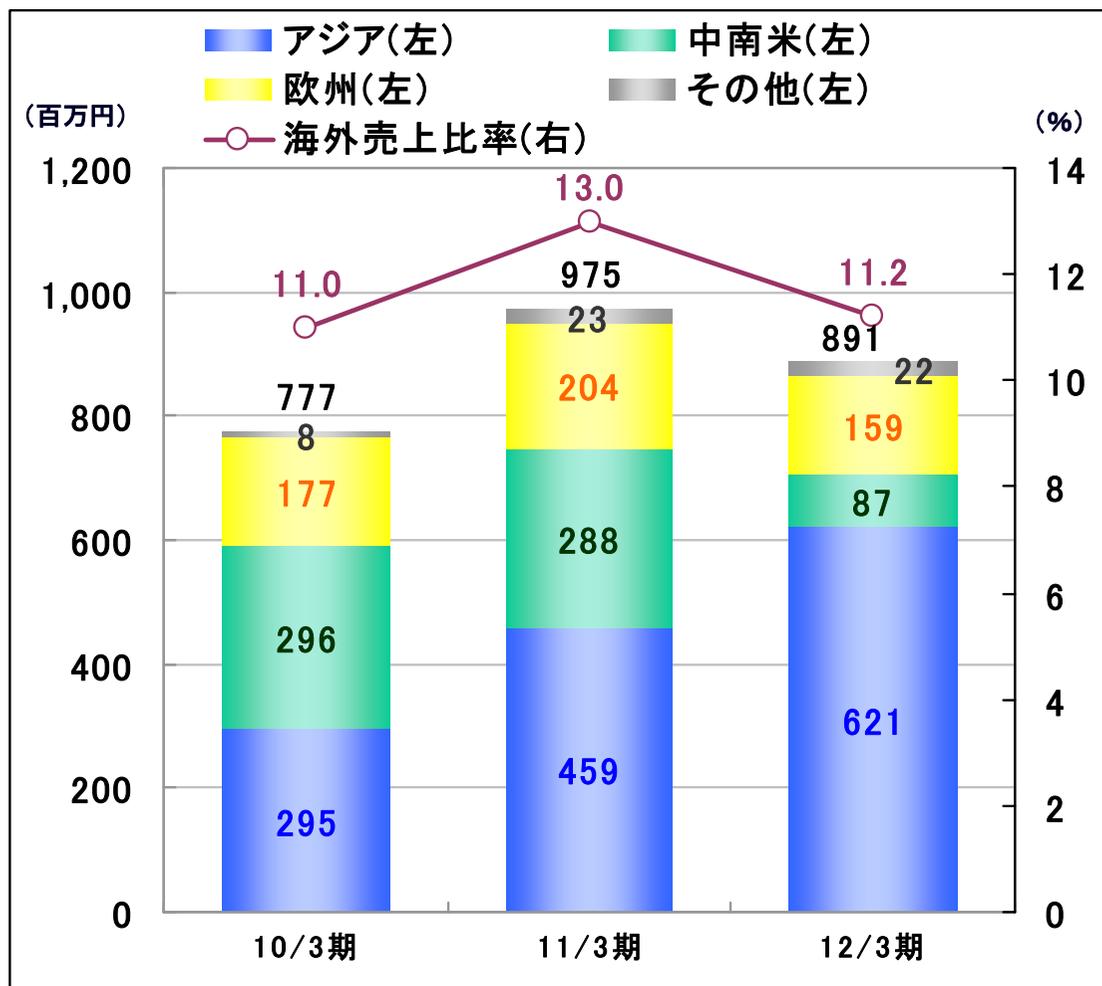
他社納入数
(211施設)

当社納入数
(1,672施設)

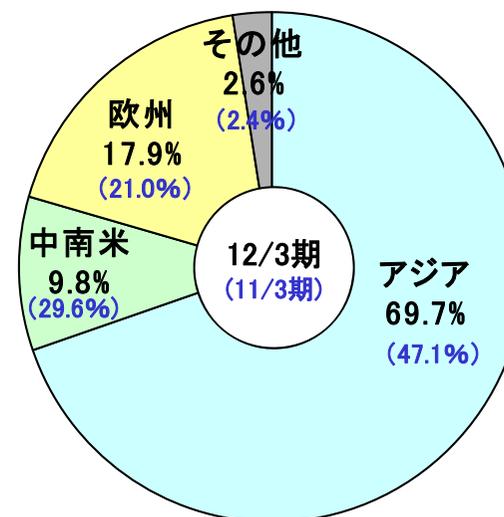
シェアー 88.8%

(出所: 当社データ)

海外売上高



地域別の売上構成比



12/3期:ROBO/アジアで上伸、
中南米で減少

11/3期:アジアでのROBO
の売上が寄与

要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2011年3月期		2012年3月期		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	7,559	100.0	7,980	100.0	+ 5.6
売上原価	3,766	49.8	3,912	49.0	+ 3.9
売上総利益	3,793	50.2	4,068	51.0	+ 7.3
販売管理費	2,342	31.0	2,239	28.1	△ 4.4
営業利益	1,451	19.2	1,828	22.9	+ 26.0
営業外損益	4	0.1	2	0.0	△ 50.0
経常利益	1,455	19.2	1,831	22.9	+ 25.8
特別損益	△ 2	△ 0.0	0	0.0	---
法人税、調整額等	520	6.9	756	9.5	+ 45.4
当期純利益	933	12.3	1,074	13.5	+ 15.1

要約貸借対照表【資産の部】

	2011年3月末		2012年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動資産	9,010	84.9	10,415	86.8	+ 1,405
現預金	4,153		4,662		+ 509
売上債権	3,566		4,226		+ 660
棚卸資産	1,247		1,459		+ 212
その他流動資産	43		66		+ 23
固定資産	1,605	15.1	1,588	13.2	△ 17
有形固定	1,300		1,265		△ 35
無形固定	8		6		△ 2
投資等	296		316		+ 20
資産合計	10,616	100.0	12,004	100.0	+ 1,388

要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2011年3月末		2012年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動負債	2,044	19.3	2,582	21.5	+ 538
買入債務	1,115		1,603		+ 488
短期有利子負債	100		100		+ 0
その他流動負債	829		878		+ 49
固定負債	352	3.3	350	2.9	△ 2
長期借入金	0		0		+ 0
その他固定負債	352		350		△ 2
負債合計	2,397	22.6	2,933	24.4	+ 536
純資産合計	8,218	77.4	9,071	75.6	+ 853
負債・純資産合計	10,616	100.0	12,004	100.0	+ 1,388

要約キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2011年3月期 金額	2012年3月期	
		金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	744	732	△ 12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 142	58	+ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 267	△ 222	+ 45
現金・現金同等物の増加額	335	568	+ 233
現金・現金同等物の期首残高	2,282	2,618	+ 336
現金・現金同等物の期末残高	2,618	3,186	+ 568
研究開発費	690	513	△ 177
設備投資実施額	17	1	△ 16
減価償却実施額	43	38	△ 5



当社の経営戦略

2013年3月期業績見通し

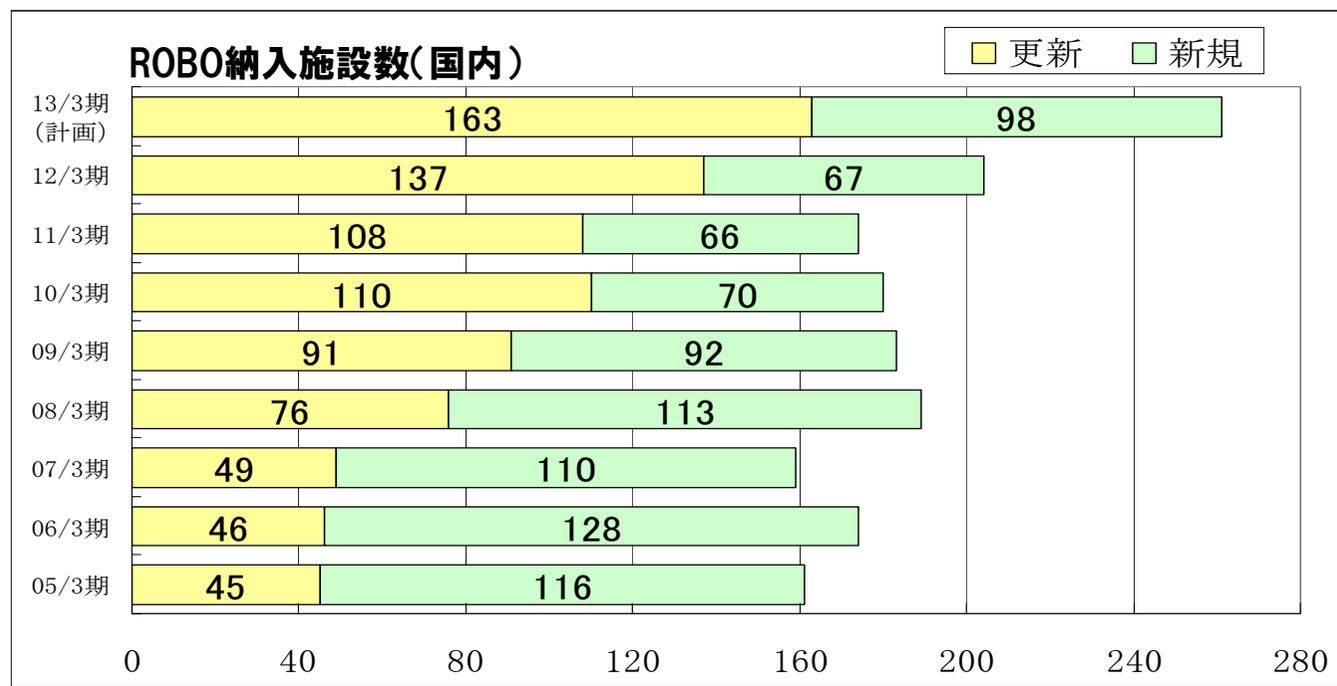
	2012年3月期		2013年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）	前期比（%）
売上高	7,980	100.0	10,000	100.0	+ 25.3
営業利益	1,828	22.9	2,000	20.0	+ 9.4
経常利益	1,831	22.9	2,000	20.0	+ 9.2
当期純利益	1,078	13.5	1,200	12.0	+ 11.3

研究開発費	513	6.4	500	5.0	△ 2.5
設備投資額	1	0.0	90	0.9	—
減価償却費	38	0.5	39	0.4	+ 3.1

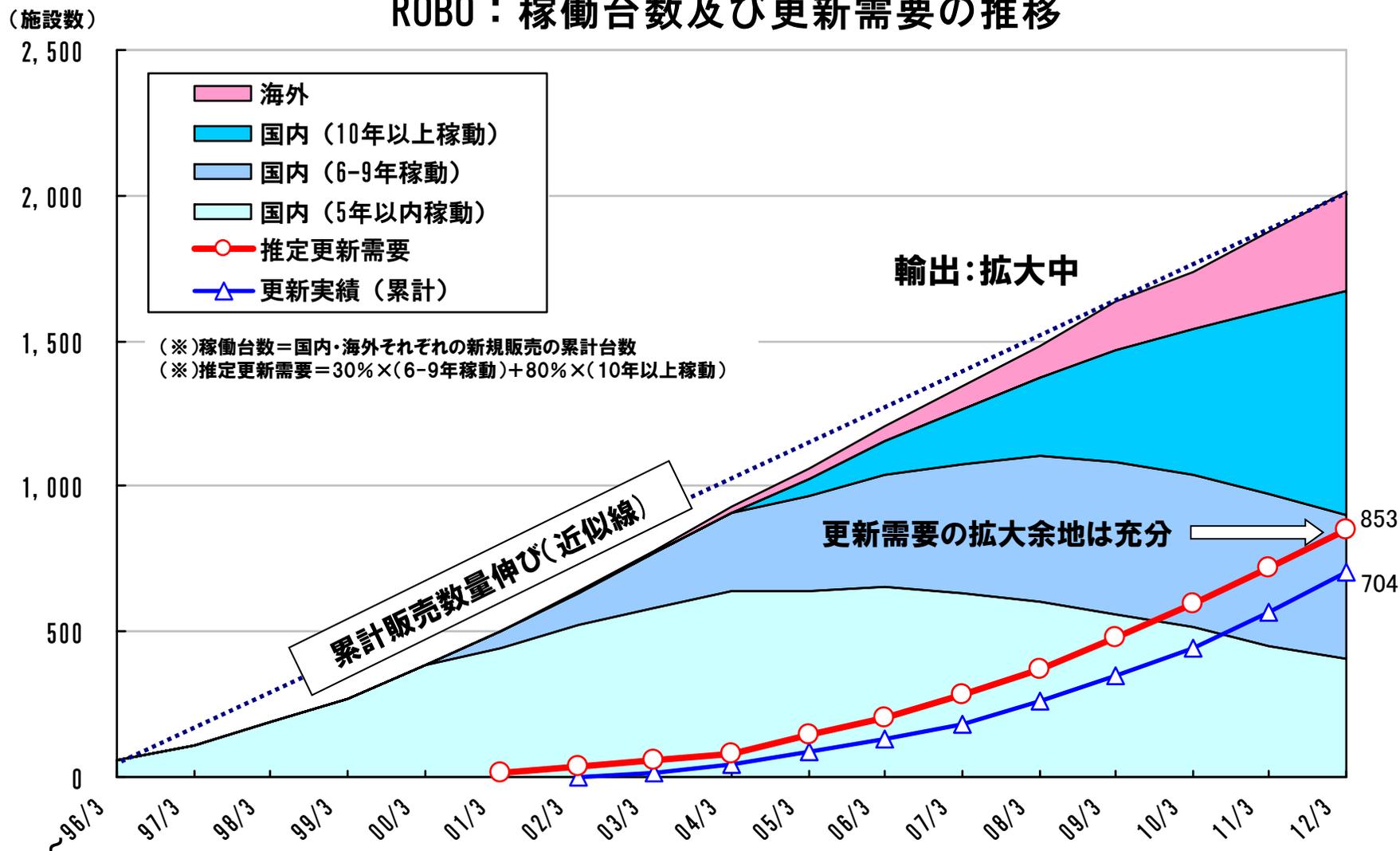
今期の課題①

➤ ROBO

- ◆ 引続き更新需要(大病院向け)の着実な捕捉
高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市
- ◆ 輸出拡大(新製品・新市場)



ROBO：稼働台数及び更新需要の推移



今期の課題②

▶ 新市場を作る新製品販売強化

- ◆ BC・ROBO-8000 **RFID**
- ◆ UA・ROBO-1000AD
- ◆ 静脈可視化装置「StatVein」
小児科・麻酔科等の新規販路開拓
- ◆ 酸化ストレスマーカー
新規販路開拓(大学の研究室等)
- ◆ ヘルスケア製品(新製品投入)



BC・ROBO
8000 RFID

全自動尿分析・分取装置
「UA・ROBO 1000 AD」



▶ 検体検査装置

- ◆ 後継新製品 血液ガス分析装置「G-1800シリーズ」の販売強化



血液ガス分析装置
「G-1800シリーズ」

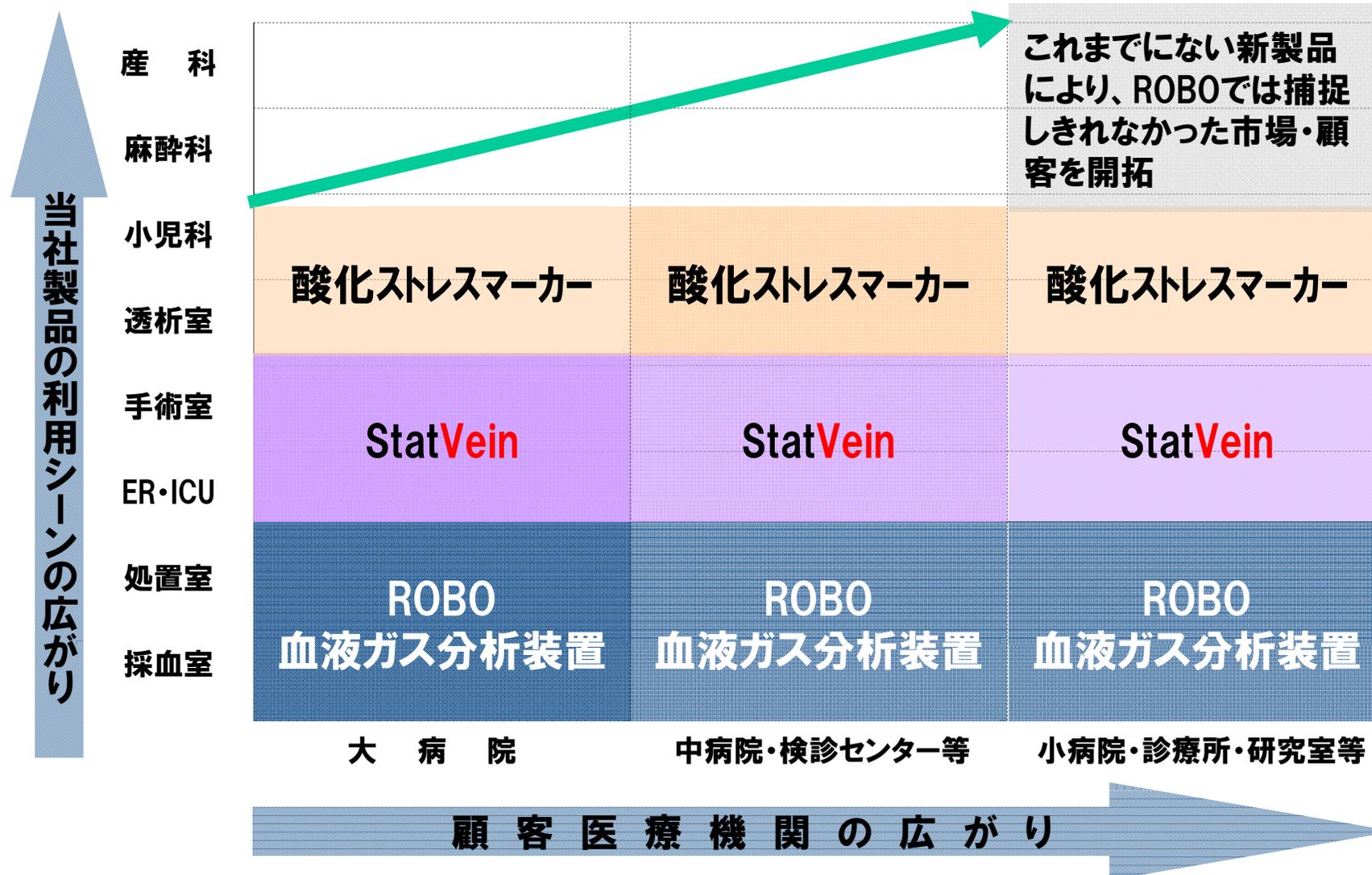
▶ 輸出の拡大

- ◆ 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化

非接触型静脈可視化装置
「StatVein」



新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



中期事業計画(2011/3期~2013/3期)

最重要テーマ

➤ スケールアップ

● 売上高伸び率目標 +15.0%

➤ 高収益率

● 売上高経常利益率 20%

課題と施策

- ① 市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
- ② ヘルスケア事業の飛躍的拡大
- ③ 今後急増する国内ROBO更新需要の確実な捕捉
- ④ 輸出売上の拡大

＜注意事項＞

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。